学校番号	４１１

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版国語総合「現代文編」「古典編」改訂版　（数研出版）						
副教材等	クリアカラー国語便覧（数研出版）新版五訂完全マスター古典文法（第一学習社）完全マスター古典文法準拠ノート（第一学習社）漢文必携四訂版（桐原書店）漢文必携四訂版チェックノート基本編（桐原書店）意味から学ぶ常用漢字（第一学習社）読んで見て覚える重要古文単語 315 三訂版（桐原書店）基礎現代文 3 ステップオリジナル問題集１+（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させ、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・現代文は授業ではもちろん、自宅でも小説や新書など、興味に応じて様々なジャンルの文章を読み、想像力や発想力を育てましょう。
・古典の時間では、有名な作品に親しむとともに正しく心情などを理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・授業のあとでノートや教科書を見返し、内容を振り返って復習してください。学習した中でより知りたい内容があれば、図書館等で調べたり、教師に質問したりして自分の世界を広げましょう。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心をもち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	自分の考えを相手や目的、意図に応じて適切に書いている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 ワークシート、ノートなどの記述の点検	発表時などの行動の観察	記述の確認、およびワークシート、定期テストなどによる分析	行動の観察 記述の確認 定期考査・ワークシートの分析	行動の観察 記述の確認 定期考査・ワークシートの分析

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	評論の内容を理解する	現代文 評論 「水の東西」山崎正和	○			◎		a:筆者のものの見方や考え方を読み取り、「他者」とのコミュニケーションに関心を持つ d:論理の展開をつかみ、[日本文化の特色]を文章から読み取る。	a:授業内での観察 d:定期テストワークシートの分析
一学期中間	小説の内容を理解する	現代文 小説 「羅生門」芥川龍之介	○			◎	○	a:近代小説の名作に親しみ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。 d:下人の心情の変化と、それがわかる情景描写が読み取れる。 e:文章中の建造物や衣服などについて知識を深める。	a:授業内での観察 d:定期テストワークシートの分析 e:ノート点検定期テスト
一学期中間	古文入門	古文の基礎 動詞の活用、用言、形容詞、 形容動詞、音便について 宇治拾遺物語 「児のそら寝」	◎			○	○	a:古典を学ぶ意義を理解する。 d:昔の言葉と現代の言葉の違いを理解し、的確に内容を読み取れる。 e:古典文法について知識を深める。	a:授業内での観察 d:ノート点検定期テストワークシートの分析 e:定期テスト
一学期中間	古文入門・漢文入門	古文 宇治拾遺物語 「絵仏師良秀」 漢文 訓読のしかた	○			◎		a:古文や漢文に親しみ、的確に内容を読み取れる。 d:古語辞典の利用法を知る。 わかりやすい説話を読み解き、その面白さを理解する。	a:授業内での観察 d:定期テストワークシートの分析
一学期期末	評論の内容を理解する	現代文 評論 「わらしべ長者」 梶井厚志 評論 「ものとことば」 鈴木孝夫	○			◎		a:筆者のものの見方や考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方と比較し、違いや同じところに気付く。 d:論理の展開をつかみ、 [経済の原理]や[虚構としての言語]についての筆者の意見を読み解く。	a:授業内での観察 d:定期テストワークシートの分析

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期期末	詩・短歌と俳句	現代文 詩 「六月」茨木のり子 「サーカス」中原中也 短歌 俳句	○			◎	○	a:詩・短歌・俳句に親しむ d:それぞれの形式や表現の特色を理解し、作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。 e:詩や短歌。俳句の表現形式や修辞を理解する。	a:授業内での観察 d:授業内ワーク d:定期テスト
一学期期末	随筆	古文 徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」 「奥山に猫またといふものありて」	○			◎	○	a:古典を学ぶ意義やその方法を理解する。 d:登場人物の性格や心情を記述から読み取る。 e: 平安時代の文化や衣服などについて知識を深める。	a ノート点検 定期テスト d ワークシートの分析 e:定期テスト
一学期期末	物語文学	古文 伊勢物語 「芥川」	○			◎	○	a:古典を学ぶ意義やその方法を理解する。 d:主人公の心情を考えながら読む。 e:文章中の和歌の役割について理解し、古人の恋愛の過程や結婚制度についての理解と認識を深める。	a ノート点検 定期テスト d ワークシートの分析 e:定期テスト
一学期期末	古文入門・漢文入門	古文 助動詞(半分程度) 漢文 返読文字・再読文字	◎				○	a:古典の物語を読むための文法に興味を持つ。 e:古典文法を理解し、問題演習などを通して使いこなせるようになる。	a:授業内での観察 e:ノート点検 定期テスト ワークシートの分析
二学期中間	評論	現代文 評論 「時間と自由の関係について」 内山節	○			◎		a:「時間」に追い立てられる現代人について身近な事例を探し、意見交流する。 d:論理の展開をつかみ、筆者の伝えたいことはどの段落にあるのか、本文にどのような技巧が用いられているのかを読み解く。	a:授業内での観察 d:ノート点検 定期テスト ワークシートの分析

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二学期中間	評論	現代文 評論 「無痛化する社会のゆくえ」 森岡正博	○		○	◎		a:筆者の主張を読みとり、現代社会が「無痛化」していることを示す具体例を発表しあう。 c:作品の内容を自分なりにまとめ、他人に伝えることが出来る。 d:論理の展開をつかみ、筆者の主張を読み解く。	a:授業内での観察 c:定期テスト ワークシートの分析 d:ノート点検 定期テスト
二学期中間	漢文入門	漢文入門 訓読の仕方 故事成語 「漁夫之利」 「狐借虎威」	◎				○	a: 格言を繰り返し音読して、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 e: 漢文を学ぶ意義を理解し、訓読の決まりを用いて学習する。	a:授業内での観察 e:ノート点検 定期テスト
二学期中間	古典文法	古文 古典文法 助動詞	◎				○	a:古典の物語を読むための文法に興味を持つ。 e:古典文法を理解し、問題演習などを通して使いこなせるようになる。	a:授業内での観察 e:ノート点検 定期テスト
二学期中間	物語文学	古文 竹取物語 「なよ竹のかぐや姫」	○			◎	○	a:竹取物語の世界観や翁のかぐや姫に対する思いを理解する。 d:伝記物語の文章表現の特色を読み取り、文章表現の特色について理解する。 e: 平安時代の文化や儀式などについて知識を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:定期テスト
二学期期末	評論	現代文 評論 「「間」の感覚」 高階秀爾	○	○			◎	a:筆者の主張を読み取り、芸術作品などにおける「空間のとらえ方」の違いを読み味わう。 b:筆者のものの見方や考え方を読み取り自分の考えを深め、伝え合う。 e:文章の構成や文章につかわれている技巧を理解する。	a,b:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二学期末	小説	現代文 小説 「富岳百景」 太宰治	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを表現に即して、どう設定されていて、なぜそのように書かれているか主体的に考えようとしている。 d:登場人物の心理状況、作品の構成・展開を正しく捉え、小説の面白さを味わい、「芸術」や「人の心の交流」について考えを深める。 e:基礎的な語彙と文章に即した慣用句などに触れ、文章表現に生かすことができる。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト
二学期末	随筆	古文 枕草子 「雪のいと高う降りたるを」 「中納言参り給ひて」	○			◎	○	a:平安時代の貴族たちの考え方を理解する。 d:平安貴族の生活やその世界観を理解し、作品を鑑賞する。 e:女流文学が栄えた理由について理解を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト・ワークシートの分析 e:ワークシート・定期テスト
二学期末	漢文 漢詩	漢文 唐代の詩文 「登鸛鵲桜」 「涼州詞」 「月夜」 「八月十五日夜禁中独直対月憶元九」	○			○	◎	a:唐代の詩文を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 d:漢文の口調に慣れ、内容に親しむ e:漢詩の種類やその見分け方、漢詩の表現について理解する。	a:授業内での観察 d:ノート点検・発問 e:ノート点検 定期テスト
二学期末	日記文学	土佐日記 「門出」	○			◎	○	a:平安時代の生活について考え、自分たちと比較する。 d:筆者の気持ちや想いなどを文中の単語や敬語などから読み解く。 e:日記と日記文学の違いを理解し、仮名文字がこの後の文学界にもたらしたものの意義を理解する。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 d:ワークシート、定期テスト

三学期	評論	現代文 評論 「動的平公の回復」 福岡伸一	○			◎		a:筆者が述べる「環境と生命」のあり方について主体的に理解しようとする。 d:引用事例や論理の展開に着目し、筆者の主張を正確に読み解く。	a:授業内での観察 d:ノート点検・発問 e:ノート点検 定期テスト
三学期	小説	現代文 小説 「城の崎にて」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを表現に即して、どう設定されていて、なぜそう書かれているか主体的に考えようとしている。 d:登場人物の心理状況、作品の構成・展開を正しく捉え、小説の面白さを味わい、「生と死」「生きる」ということについて考えを深める。 e:基礎的な語彙と文章に即した慣用句などに触れ、文章表現に生かすことができる。	a:観察(発言、発表、グループワーク) d:定期テスト、ノート e:定期テスト
三学期	古典文法	古文 助動詞 敬語	○			○	◎	a:敬語の種類や見分け方に積極的に取り組み、問題演習に生かす。 d:文中に書かれた敬語から主語を読み解いたりする。 e: 古典文法を理解し、問題演習などを通して使いこなせるようになる。	a:授業内での観察 d:定期テスト e:ノート点検 定期テスト
三学期	和歌の修辞	古文 和歌の修辞 「万葉集」「古今和歌集」「古今集」などから数首	○			◎	○	a:言葉の成り立ちや変遷について考えを深め、わが国の伝統的な言語文化への興味・関心を持つ。 d:和歌の発想や表現技法を理解しながら内容を考える。 e:和歌の修辞を理解する。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト
三学期	物語文学	古文 平家物語 「木曾の最期」	○			◎	○	a:歴史的背景を踏まえて軍記物語の世界を読み味わう。 d:語り物のリズム感を味わいつつ、内容と登場人物の心情や価値観を理解する。 e:音便や敬語の用法に慣れ、助動詞の理解を深める。	a:授業内での観察 d:定期テスト ワークシートの分析 e:ノート点検 定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解